

実施要綱 「3. 対象者」についての Q&A (令和7年度)

Q1 「専任」とは？

A 「専任」とは、常勤かつ専従を指します。

※常勤とは、当該事業所における勤務時間が、当該事業所において定められている常勤の従事者が勤務すべき時間数に達していること。

ただし 32 時間を下回る場合は、32 時間を基本とします。

※専従とは、当該事業所に勤務する時間帯において、当該サービス以外の職務に従事しないこと。

Q2 管理者との兼務は専任として認められますか？

A 介護支援専門員として所属する事業所の管理者との兼務は「専任従事期間」として認められます。

ただし当該事業所以外の事業所（併設事業所含む）の管理者・従事者との兼務は「専任従事期間」として認められません。

（例）併設デイサービスセンターの管理者との兼務

Q3 地域包括支援センターで介護予防プランを作成していた期間は、介護支援専門員としての従事期間に含めることができますか？

A 地域包括支援センターに常勤かつ専従で勤務していた場合は、介護予防プラン作成を行っていた期間については介護支援専門員として配置されていない者であっても、従事期間に含めることができます。

Q4 従事期間はいつまで算入できますか？

A 研修初日の前日（令和7年8月18日）まで、算入できます。

※従事期間は介護支援専門員としての専任開始日を始期としてください。

Q5 従事期間証明書の提出日に従事期間が 60 か月に満たない場合、従事期間証明書はどうしたらよいですか？

A 60 か月の見込みで作成し提出してください。その後、証明日の翌日から研修前日までに規定の従事期間を満たした時点の分について、別紙 2-2 従事期間証明書を提出してください。

Q6 地域包括支援センターに配置されている者で、介護保険法施行規則第 140 条の 66 第 1 号イの（3）に規定する 主任介護支援専門員に準ずる者とは？

A 「ケアマネジメントリーダー活動等支援事業の実施及び推進について」（平成 14 年 4 月 24 日付け労発第 0424003 号厚生労働省老健局長通知）に基づくケアマネジメントリーダー研修を修了し、介護支援専門員としての実務経験を有し、かつ、介護支援専門員の相談対応や地域の介護支援専門員への支援等に関する知識及び能力を有している者をいいます。